

# 船町地区・厄神地区 まちづくり通信

NO.2  
2024.1

第1回目の会合を2023年12月16日（土）に行いました。  
はじめに、厄神・船町の「いま」を知るとして、まちの魅力と課題の共有を行いました。また、課題解決のために、どんな手段があるのかを知るために「市街化調整区域地区計画制度」「田園まちづくり制度」の内容についてコンサルタントから説明がありました。  
その後、グループに分かれて「これから」を考えるために、どんなまちを目指していくのがよいかについて、意見交換を行い、最後にグループで出た意見を発表し終了しました。  
次回は、あらためて「田園まちづくり制度」で実現可能になること、難しいことなどを確認し、1回目の意見をもとに目指すべき姿を共有するために必要なことを確認していきます。

第1回目の内容は  
裏面に記載しています。  
ぜひ、確認ください



厄神駅前を含むまち全体の目指すべき姿を考える [第2回]

<日程> 2024年 **1月27日**（土）

<時間> **19時より**（約2時間）

<会場> **船町公会堂**

<議題> ・田園まちづくり制度のおさらい  
・厄神駅周辺の将来像を検討する

1回目参加して  
いなくても大丈夫です  
ふりかえりから  
はじめます



地域としてどんなまちを目指すのか？として「共同住宅」「生活利便施設」「生活道路」「農地」等について良い所、良くない所など思っていることを意見として出して頂きました。以下、当日の意見（抜粋）になります。

## 「共同住宅のあり方」

●人口を増やすには許可していく方向になる。●建て方や戸数などを制限できるならよいのでは。●誰でも住んで欲しいわけではない。一時的に住む人はNG●人を増やす＝住みやすいまちなのか？●今の住み方、地域の在り方をやり直す必要が出てきている。●賃貸の人と、購入して住む人では地域社会へのかかわり方に違いが出る。●そもそも需要があるのか？

## 「生活利便施設の内容」

●オートバックス●飲食店●薬局・調剤薬局●スーパー●病院・医院●ホームセンター●コンビニエンスストア●サイクルショップ●ウーバーイーツ圏内になって欲しい●できればいいが、現実的ではない。

## 「生活道路の状況」

●生活道路を拡張して車が出入りできるようにして欲しい。●防災の面で考える必要あり。●道が狭いことが問題。

## 「今後の農地について」

●担い手のいない農地は守るべきなのか？●営農組合に耕作放棄地の管理をまかせている。●国の政策で農業をがんばっているが、環境を整えることも（トイレすら...）できない。

●もう少し自由に農地を使えるようにしたい。●農地の買い手がいない。●企業（野菜工場）誘致できたらよい。●相続の問題がでてくる。

## 「その他：空家の活用」

●空地になったときに負担を軽減するしくみがあるとよい。●空き家の店舗利用ができるとよい。例えば民泊など。●危ない空き家を増やしたくない。人口が減ると空き家が増える。●厄神駅周辺は何とかしたい。JR 利用者に影響する。●「住みたい」と思われる地域ではなくなった？

## 「その他：下水道」

●下水道の整備をしてほしい。●合併浄化槽設置できないエリア（排水の構造）があり大変。

## 「その他：魅力」

●駅に近い。●人間性が温厚。●野鳥が飛んでくる。●I.Cが近い。九州、東京への移動が便利。●みどり豊か。●静か。



現状いろいろな  
考えがあります。  
地域の思いを  
みなさんが納得できる  
形にまとめていく  
必要があります